

活 用 事 例	北海道石狩市立紅南小学校	加藤悦雄教諭
活用事例タイトル	初めての社会見学 動物園のルートはデジタルで決める	
対象授業科目/活動	生活科 小学校 1 年生	
授業または活動の概要(目的、実施時期、授業の場合教科名や単元名、対象学年、参加人数、ICT の使用局面など)	<p>生活科 1 年生 社会見学 (遠足) の事前指導 単元名 「動物園の見学コースをきめよう」 児童 25 名</p> <p>①小学校に入って初めて、社会見学に行く動物園の見学コースをグループ (4 人) 単位で考えることを告げる。</p> <p>②あらかじめ用意しておいた動物園の様々な動物舎の写真 (10 枚程度) を子どもたちに自由に見させる。(1 人 1 台端末を共有ソフトで閲覧)</p> <p>③一人ひとりが見たいところを決めて、グループで話し合い、コースを決定し、タブレット PC に書き込み。(個別学習→協働学習)</p> <p>④それぞれのグループが立てたコースのアピールポイントを考えさせる。</p> <p>⑤グループごとに、電子黒板に転送し発表。他のグループのコースの良いところ、? などところを出し合う。</p> <p>⑥教師がそれぞれが立てたコースの問題点を指摘し、再検討させる。</p> <p>⑦当日のコースの確認をし、安全・迷惑行為・困ったときの対処法を電子黒板に投影した地図で確認する。</p>	
ICT 活用により期待できる効果 ICT 活用のねらい	<p>・ 1 年生は、見たままの情報しか受け取れない、例えば、動物園のパンフレットを白黒印刷した「見学のしおり」にある地図から、自分たちの見学コースを点と点を結ぶようにルートを見つけることができるが、そのルートどおりに通れるのか通れないのかまで見極めることは 2 次的には不可能な場合が多い。</p> <p>そこで、それぞれの地図が、カラー表示され (場合によっては 3D 表示も可能)、拡大縮小が容易にできるタブレットパソコンの画面を使うことで、立ち入り禁止区域や行き止まりなどに気づかせ、いちばん最適なルートを見つけさせたい。</p> <p>・ 地図上にある、様々な施設 (迷子センター、水飲み場、トイレなど) を見つけさせ、どういうときにその施設を利用したらよいのかを考えさせる。また、その際にどのようなマナーや話し方が良いのかをタブレット PC の動画撮影機能を使って、シミュレーションさせる。</p>	
評価、振り返り (活動の評判や児童・生徒の声など)	<p><児童から></p> <p>・ 色つきの地図で見ると、通れない道や行き止まりのところがよく分かった。(印刷物では確認できなかった)</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大きな地図で確認できて、他のグループがどの道を通るのかよく分かった。 ・ トイレや水飲み場の場所がわかって良かった。(印刷物では判読不能) <p><教師から></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学級全体に指導が徹底する。 ・ 印刷物では、細かなところが判読不能になるが、デジタル画面にすると実にきれいでいい。
<p>その他 (関連 WEB サイト等ありましたらご記入ください。)</p>	<p>紅南小学校ホームページ http://academic4.plala.or.jp/kounan/top.htm</p>